

回顧

池田 晴吉（大正9年生まれ）

一、昭和17年9月15日、僕は南方向け輸送船「たこま丸」の船上にいた。

この船上には、ビルマ方面に赴く架橋部隊の大部隊と、南方方面軍管下にある第11野戦郵便隊に配属になる僕等初年兵16名が乗せられていた。同部隊が列車事故で16名の欠員となったので、その補充要員であった。

目黒輜重兵連隊から8名、麻布歩兵連隊から8名で計16名、これを所属部隊に届ける役目の経理軍曹1名となっていた。

この貨物船の船倉は蚕棚のように3段に区切られ、板の間にアンペラ敷きで1人分として占める部分は畳1枚弱で四つん這いで行動しなければならず、食事としては麦まじりの主食、乾燥野菜の味噌汁、おかずは南瓜と塩漬鰯の煮付ばかり、この劣悪環境で、台湾馬公湾内で1週間、佛印西貢沖で3日間の滞留、10月8日、シンガポールに上陸、総司令部に連絡、野戦郵便隊本部は西貢に駐留していたので船便を待ち、本部に到着したのは、10月13日であった。南シナ海の大荒れ、船酔いなどで相当の体力消耗であったが、初年兵達がよく持ちこたえたものだ。若さだろう。

二、この長い船旅で僕の人生にとっての一大収穫は囲碁を覚えたことである。先生は同年兵のT君、彼が仲間のN君の持っていた五目並べの石二箱を徴発し、ビール木箱の裏に十九路の線を引き碁盤を作成、関心を示した僕1人を弟子として仕込んだ。T君の棋力は7~8級だったろう。この師弟関係は、郵便隊に入ってから1年位続いた。引率者の経理軍曹も野戦要員の初年兵には何も文句も言わなかった。

三、このT君の人物描写をすると、短足小柄全く兵隊向きではなく、内地での訓練中、富士山山麓の駒門廠舎では、他の棟に鉄砲を置き忘れたり、弾入れを落としたりなどしたものである。家は代々の宗教家で、彼はその宿命を嘆いたり、大学の卒論は近世問屋制度についてであるなどと僕に話をしてくれた。同年兵達の前では、ボソボソとした話しぶりで、西貢の街を歩くフランス女人の西歐的美をたたえ、また欧米の文化の発展を説明し、しまいには、この大戦に日本の勝てる要素は何もなく、負けるだろうと締めくくるので、神州不滅を信じている同年兵の槍玉にあがったものである。古い兵隊に知れば重営倉ものだろう。その後、本部はシンガポールに移り、僕は北部佛印の片田舎バクニンという街の第221野戦郵便所第2分所、同じく北部の首都ハノイの第221野戦郵便所に移り、T君は中部佛印の王宮の街ユエの郵便隊に移って別れた。戦後T君に会う機会があったが、年令なりに、家を継ぎ、立派な宗教家となっていた。

四、僕は南部佛印の主要都市サイゴンの本部に昭和17年10月から昭和19年9月まで約2年間在

隊したが、佛印に隣接するカンボジアの首都プノンペンに郵便荷物を宰領^{さいりょう}し、往路は河川を船で赴^{おもむ}き、復路は貨物廠のサイゴン行きトラックに便乗して帰ってきたこともあり、また、サイゴン埠頭^{ふいとう}で揚陸^{ようりく}した郵便物中のハノイ向け郵便荷物を二回程宰領してサイゴン～ハノイを往復したことがある。

サイゴン ハノイ間は約 1,700 キロメートルのベトナム縦貫鉄道（青森～下関間位）があり、1 回目は問題なく、景色を眺めながら 2 日間位でハノイについたが、その後は、米軍がこの鉄道を重視し、河川にかかる鉄橋 12 か所位空爆により破壊、船で乗り継ぎしなければならなくなり、片道 1 週間位必要となった。

僕等も途中駅で停車中、P38 双胴機の空爆を受け避難したりした。しかし僕がハノイに移ったので、この役目の心配は無くなった。

五、僕は在ハノイ時代の昭和 20 年 3 月 9 日、在佛印のフランス軍を戡定^{かんてい}する目的の明号作戦参加の命を受け、郵便隊で僕が担当しているトラック 1 台を持って同年兵 1 名と共に日本警備隊の指揮下に入った。

トラックに糧秣^{りょうまつ}を満載し、主計少尉^{しゅうい}の指揮のもと、戦闘地域などを廻って歩いたが、この作戦も短時日で無事に終わった。

六、昭和 20 年 8 月 15 日、終戦。

佛印は北緯 18 度線を境として、北は重慶軍^{じゅうけい}、南は英印軍の統治するところになり、僕は抑留^{よくりゅう}生活中、アメーバ赤痢^{せきり}、マラリア熱帯熱にかかり、三か月位野戦病院に入院したときもあったが、昭和 21 年 5 月 3 日、どうやら郷里新井市^{ふくいん}に復員した。

七、結び。僕等の世代は戦争という生と死の狭間^{はざま}に身を置き、多くの仲間が障害者となったり、戦死したが、今なお、世界各地では戦争の絶え間がない。平和を維持している我が日本はどんなに素晴らしいことか。戦後 60 余年、88 の米寿^{べいじゆ}を迎える僕は、子供の代、孫の代、もっと長くこの平和を保てるようお願いしつつ筆を置く。